

衆議院 道一区・八区で支部長決定！



加藤貴弘氏

向山淳氏

衆議院北海道一区（札幌市中央区、南区、西区と北区の一部）と道八区（渡島、檜山管内）で、次期衆院選の自民党公認候補予定者となる支部長が決まりました。

一区支部長の加藤貴弘さんは札幌市出身の40歳。道立有朋高校卒業。通信機器販売などの仕事を経て、パン製造・販売会社を設立。平成27年、札幌市西区から道議会議員に初当選。現在3期。党道連青年局長、道議会総務常任委員長などを歴任しました。母子家庭で育った経験から子育て支援の充実や教育環境の整備に力を入れるほか、道産食品の輸出拡大、スポーツによる経済活性化などにも尽力しました。一男二女の5人家族。

八区支部長の向山淳氏は埼玉県出身の39歳。中学卒業まで、ペルー、アメリカ、アルゼンチンなどで生活。慶應義塾大学法学部卒業後、三菱商事に入社し、インフラ開発、インターネット事業などを担当。2018年にハーバード大学大学院に留学し、行政学修士を取得しました。現在、政策シンクタンク代表を務め、昨年の参院選比例代表にも出馬。グローバルな視点と母親の目線を活かして世界に誇れる道南の創生に意欲を燃やしています。札幌市出身の夫、娘の3人家族。

自民党道連では議席獲得に向け、必勝体制の構築に全力を傾ける考えを示しています。